

令和2年度第2回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：令和3年2月18日（木）14時から15時30分

開催場所：長野市リサイクルプラザ2階 大会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 前回の議事録確認
- 5 議 事
長野市一般廃棄物処理基本計画について（第2回目）
- 6 その他
- 7 閉 会

【会議資料】

- ・資料1 長野市一般廃棄物処理基本計画（概要版）
- ・資料2 長野市一般廃棄物処理基本計画（本編版）
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿

【出席委員】 13名

【欠席委員】 2名

【事務局】 6名

【報道・傍聴者】 0名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

- ・会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

審議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、また雪が降りお足元が悪い中お集まりいただき感謝申し上げます。

令和2年度も残りわずかとなった。昨年度から新型コロナウイルスが猛威を振るっており、なかなか思うようにいかなかった年であったと思う、本日このように集まることができたことを嬉しく思う。

本日は、長野市一般廃棄物処理基本計画の策定について第2回目の審議を行うためにお集まりいただいた。事務局から廃棄物処理の現状について説明を受

け、皆さまと内容を確認していきたいと思う。

本日はよろしく願います。

3 環境部長あいさつ

令和2年度第2回目の長野市廃棄物減量等推進審議会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、ご出席たまわり誠に感謝申し上げます。

さて、本日は長野市一般廃棄物処理基本計画についてご審議いただくこととなる。

小木曾会長からお話があったようにごみ処理の現状、また食品ロスの現状についてご説明させていただく。さらに、新型コロナウイルスが本市のごみ処理にどのような影響を及ぼしているのかについても触れさせていただく。

議事の中で説明させていただくが、平成31年1月から令和元年12月までと、令和2年1月から12月までのごみ量を比べたところ、ごみ総量で1,133トン減少している。その内訳を見ると、家庭ごみは2,604トン増加しているのに対し、事業ごみは3,737トン減少しており、正に、巣ごもり消費と景気の冷え込みが伺われるのではないかと思う。今後も廃棄物行政に新型コロナウイルスの影響がどのように作用してくるのか不透明なところもあるが、市民の皆さまの生活環境の保全を第一に取り組んでまいりたいと思う。

本日は、委員の皆さまの幅広いご見識の中から、様々なご意見をいただければと思う。よろしく願います。（環境部長）

4 前回の議事録確認

事前に送付した令和2年度第1回審議会の議事録（要旨）の確認。修正箇所なしで承認。

5 議 事

長野市一般廃棄物処理基本計画について（第2回目）

◇資料1「長野市一般廃棄物処理基本計画（概要版）」、資料2「資料2 長野市一般廃棄物処理基本計画（本編版）」により説明（事務局）

（会長） 何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。

<以下、質疑応答>

（笠原委員）食品ロス削減のテーマを取り上げた理由はなにか。可燃ごみの組成割合を見ると食品ロスは10%。ごみ削減と言う観点から見ると、その他可燃ごみを減らすことを取り組んだ方が良いのではないか。食品ロスの発生量は近年横ばいに見える。今後のことを考えると、生ごみなど他の可燃ごみの項目にメスを入れた方が良いのではないか。

（事務局）食品ロス削減推進に関することは、国の法律、基本方針さらに県の

計画を受けて策定することとしたもの。その意義は、資料2 一般廃棄物処理基本計画の本編版（51 ページ）に掲載させていただいた。おっしゃるとおり生ごみやその他の可燃ごみの方が高い割合となっているが、これらは減量することが難しい内容物となっている。

（竹重委員）家庭系可燃ごみ量を見ると、平成元年度以降徐々に減ってきている。特に平成21年度以降、有料化してからごみ量が抑えられている。今後、更なるごみの削減を目指すのであればごみ処理手数料を上げないと減らないのではないかと。きちんと上げないと食品ロス量も減っていかないと思う。

（河西委員）家庭ごみ処理手数料の値上げを検討するのはいいが、上げて増えた財源をどのように使うかも併せて検討しなければならない。ものを買ったら処分するまで考えて行動するよう市民に呼びかけて、消費から処分するまでの費用をきちんと転嫁することが重要だ。

（竹重委員）河西委員と同意見。ごみ量のグラフを見ると平成21年度以降横ばいであるので、値上げを検討した方が良いのではないかとと思う。

（宮入委員）2人の委員の言いたいことは分かる。北欧を紹介すると、ごみの分別が多い。分別が多い代わりに電気代が安いなど目に見える形で市民に還元しているところが良いと思う。このような施策は市民の意識を変えさせることができるのではないかと。私は、小学生特に低学年の環境教育に取り組んでもらうと良いと思っている。例えば、私の近所の小学生は家でも公園でも水道の蛇口から水がポタポタ出ているともったいないからとって閉めている。これは保育園の先生に教えられたものだと言った。この様に小さいときの教育は一生身につくものなので取り入れて欲しい。

また、長野県では、ごみの排出量少なさ日本一となっている。これは長野市でもそうだと思うが、長野県民は土地を持っている人が多いと思う。自分の土地があるから、そこで生ごみを処理している人が多いのではないかと。この様な市の現状を活用して市民に動機づけしてリサイクルや教育を進めていった方が良いのではないかと。

（河西委員）ごみ全体の減量を考えていくと意識改革も確かに重要だが、プラスチックを減らしていくことが重要ではないか。マイクロプラスチックや健康問題などがあるが、可燃ごみのその他可燃ごみの中にもプラスチックがあると思う。それを減らしていく必要がある。市としても条例を考える必要があると思う。

（水野委員）新しい焼却処理施設ができ、建設した後業者に委託するなどしてコストダウンが計画どおりできているのか。必要に応じてインセンティブが付く制度を作った方が良いのではないかと。コストを評価できるものは今後出てくるのか。また、施設自体は順調に稼働しているのか。

（事務局）令和3年度に長野広域連合においてもごみ処理手数料の見直しが行

行われる。現在定めている 10kg までごとに 160 円という料金は、設定時に将来のコストを予測して算出したものであるが、来年度見直しの際に改めて精査するはずなので明らかになってくると思う。

6 その他

本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

7 閉会

(15 時 30 分閉会)